

二葉 東京支部だより

今出来ることを

東京支部長 石上美保



会員の皆様には、ますますご健勝にてご活躍のことと存じます。

今年度の東京支部は、いくつかの点で新たな歩みを進める年となりました。

まずは会議会場の変更です。長きにわたり会場を提供していただいた日本青年館が東京オリンピック事業の一環として取り壊しとなるため、今年度の定期総会は、飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントに会場を移しての開催となりました。初めての会場ではありましたが、ご参加の皆様のご協力のもと、滞りなく総会を終えることができました。

総会での感想を踏まえ、幹事会(拡大)も本年度は会場を同ホテルに決定し、開催に向けての準備を進めております。

役員会は土曜日の午前中とし、役員一同やるからには楽しくをモットーに、あまり気負うことなく今出来ることに最善を尽くしていくこうと活動を進めております。

次は事務局の設置です。これにより、会員名簿の管理、維持費の徴収・管理が円滑に行われており

ます。会員の人数把握や維持費の納入状況など、最新の情報もご提供しやすくなりました。ちなみに7月15日現在の東京支部総会員数は、2999名(内男性会員、21名)です。これを機に、同期会活動の活性化に事務局を大いにお役立ていただきたいと思えます。

ここ数年、同窓会員の減少が大きな課題となっており、特に若い世代の会員確保がとても困難な状況です。そこで今回、拡大幹事会に、母校が共学になってからの男子卒業生(50回生)で、現在俳優として活躍されている、高山猛久さんを講演者としてお招きすることになりました。当日は、母校の思い出や俳優人生にかける思いなど様々なお話をうかがう予定です。高山さんを通して、若い世代の同窓会への道が少しでも開けることを願ってやみません。これを機に、来年の総会に男性会員が参加されることを大いに期待したいところです。

それぞれの状況は様々ですが、母校を源とする縦横の絆を大切に、今出来ることで同窓会活動にご参加いただけますよう、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

平成27年 総会報告

東京支部副支部長
濱田真由美

平成27年5月12日(火) 東京支部総会がメトロポリタンエドモントにおいて開催されました。

最高齢の高女34回の矢崎様から始まり高校40回の木村様まで、総勢151名(本部からの2名も含む)の参加者をもって開催されました。

来賓として、昨年もお越し頂いた母校田澤直人校長先生、本部より原美子会長初め宮澤みち子、宮澤節子、伊藤すぎ子各副会長、東京同窓連小川勝嗣会長にご来賓頂きました。

午前の講演会は、諏訪清陵高校卒業・下諏訪町出身の指揮者・柳澤寿男氏をお招きして、「旧ユーゴスラビア・共栄共存へのハーモニー」と題して話して頂きました。午後の総会は、小松副支部長の開会挨拶、校歌斉唱に引き続き、26年度の物故者30名様様に謹んで黙祷を捧げました。

議事に先立ち、内田支部長より副支部長時代含め支部長を3期務めて来られましたが、次期は石上新支部長にバトンタッチ出来、安心して退任出来る旨のご挨拶がありました。引き続き、ご来賓の田沢校長先生と原同窓会長よりご祝

辞を賜りました。

議事は議長に宇田川美和子さん(高校23回)が選任され、26年度事業報告・決算報告・監査報告、27年度役員、事業計画、予算、東京支部会則一部改正(事務局部分)が承認されました。新たに、事務局が設けられ、支部会名簿の管理及び維持費の徴収・管理業務を行う事になりました。

今回、高校6回生18名の皆様の傘寿(80歳)をお祝いして、役員全員で花束をお渡し致しました。お礼のご挨拶を、代表して青木朋江様より頂きました。

最後に全員で「白き翼」を斉唱し、閉会しました。総会が滞りなく進行出来ましたことを、役員一同心よりお礼申し上げます。(P2に続く)

祝傘寿



平成27年
総会講演

『旧ユーゴスラヴィア 共存共栄へのハーモニー』

講師：柳澤寿男氏
(下諏訪町出身 諏訪清陵高校卒業)

柳澤寿男氏の紹介

2007年、ニユーズウィーク日本版にて「世界が尊敬する日本人100人」に選出されました。音楽家・指揮者である氏は下諏訪町出身です。2000年東京国際音楽コンクール(指揮者で第二位。以降、指揮者として日本国内のみならず世界各国を飛び回るようになられました。

2005年から2007年はマケドニア 旧ユーゴスラヴィア国立歌劇場首席指揮者を勤められ、1999年NATO北大西洋条約機構軍の空爆以降UNMIK国連コンボ暫定行政ミッション統治



下のコンボ自治州において、2007年コンボフィルハーモニー交響楽団常任指揮者に就任しました。現在、バルカン室内管弦楽団音楽監督、ベオグラード・シンフォニエッタ名誉指揮者など、旧ユーゴスラヴィアを中心に活躍されています。

バルカンの旧ユーゴスラヴィア

宗教的に非常に複雑な背景があり世界の火薬庫と言われるバルカン地方は、日本より狭い国の中に多種多様な民族・宗教・言語が存在しています。そのため異民族が仲良く暮らしていた時代や民族間で戦争を繰り返していた時代など、複雑な経緯を経て現在に至っています。氏がコンボに入った2007年はまだ戦禍の爪痕が大きく残り治安もかなり悪かったそうです。

「音楽に国境があつてはいけな

2007年、柳澤さんはローマ条約50周年記念演奏会で日本人指揮者として初めてコンボフィルと共演することになりました。強い絆で結ばれたのち親友となるコンボフィル音楽監督のバキさんは、リハーサルの際に休憩時間にコンボ紛争時代の暗く大変辛い体験を語りました。

NATO軍の誤爆で義弟が命を落としたことや家族の悲壮な思いです。

そして、「もしも今再び紛争になれば、私は楽器を捨て銃を持つ

て戦争に行く」と荒立てた声で言いました。

ローマ条約記念演奏会は正式なコンサートホールでなく、ただ広い集会場のような場所にパイプ椅子を並べただけという会場で行われました。

そんな環境での演奏でしたが、信じられないほどの拍手とスタンディングオベーションが起きました。会場に詰めていた大勢の軍人たちも総立ちで拍手をしていました。

演奏後真つ先にバキさんが来て、「楽器でなく銃を持って戦争に行くなどと言つて悪かった。やはり音楽に国境があつてはいけない」と言いました。

バルカン室内管弦楽団

「音楽に国境があつてはいけな

い」というバキさんの言葉に民族共栄のオーケストラをという思いと、バルカンの地に国際的に通用するオーケストラがあつてもいいのではという思いから2007年7月「バルカン室内管弦楽団」を設立しました。

コンボ紛争後、インフラの整備がない異国での生活の苦労と、民族性の違いによる時間感覚の苦労からかえつて人に優しく人を許すということが気づき、あゆみよることができました。

2009年5月、バルカン半島の民族対立の象徴の地のひとつともいえるコンボ北部のミトロヴィッツァで、セルビア人ボスニア人マケドニア人の共演コンサートを

となりました。

世界平和コンサートへの道 Road to World Peace 音楽の力で平和を祈る

2014年サラエボ事件から100年の節目に、サラエボ国立劇場においてヨーロッパ共通国歌と言われる交響曲九番を演奏しました。

平和と友好の祈りを込めた「第九」は会場からスタンディングオベーションと鳴り止まない拍手が送られました。

2015年6月、ベオグラードで世界平和コンサートを開催しました。

国、民族、宗教という括りで人を判断せず、世界市民というキーワードで共存共栄を目指していきたいそうです。

「共存 共栄へのハーモニー」

今回の講演では、戦場の傷跡が残るバルカン地方の情景や難しい宗教背景をユーモアを交えて分りやすく語っていただきました。関係各方面に資金面等での協力を頂く活動も氏自身でされているなど、音楽を離れたところでのご苦労も多いそうです。

政治的に不安定なイメージで、国で活動されているということで、情熱的で激しい雰囲気の方なのかと想像していましたが、意外にも優しく知的な第一印象で語り口はソフトでユーモラスな方でした。民族共存共栄のためというぶれない信念と様々な人との出会いと感動体験をもって、大きな活動をされていることに、大変感銘を受けました。

(藤森ゆり子)

平成27年総会 傘寿の方からのメッセージ

(高校六回生)

※紙面の都合で、文面の一部を抜粋して記載させて頂きました。

■高橋慶子様より

五月東京支部総会では、可愛らしい花束と傘寿のお祝いを下さいます。有り難うございました。十八人他人の力をお借りする事無く元気で居られることに感謝せねばと存じます。

■長田正江様より

「素直であれ」「本気で働け」「有り難さを思え」「二葉高校で学べた事に、心から感謝しております。

■千野まゆみ様より

講演のお話し、又催しの内容に私達がどんなに心温まるものをお願い。ただく事が出来たか、感謝の思いです。

■吉野幸子様より

会に出席するたびに「妻でない、母でない日の同期会」がその心境でした。

■文傳正子様より

当日の写真、嬉しく頂戴致しました。重ねて御礼申し上げます。

東京支部 特別講演会

平成26年11月14日

「離れて暮らす親のケア

——私達にできること、考えること」

講師：介護・暮らしジャーナリスト 太田差恵子氏



テレビ等でご活躍の介護・暮らしジャーナリストの太田差恵子さんをお迎えして、親の介護を真剣に考えていく世代や、子に望む介護を考えてみたいという立場で、お話を伺い遠距離介護と向き合い実践すべきことを学びました。

介護について考え始めたのは、20年ほど前の30代の頃でした。当時はフリーライターの仕事をしていました。「お年寄りが安全に暮らすためには」という冊子作りに関わったことがきっかけになりました。

その女性は障害もあり寝たきりの生活でした。ある時、ベッドから落ちて動けなくなったそうです。夜になりようやく隣人に助けを求めました。危うく命を落としてしまうところでした。当時からヘルパー制度や緊急情報サービスはありましたが、広く知られていなかったのです。女性に緊急情報サービスのことを伝えると大変喜びました。ところが、息子さんが疎遠でありながら近くに住んでいるという理由で、サービスを受けることができませんでした。言いたいことも言えず、情報に中々辿り着けないお年寄りを間近かに見て離れていても出来ることがあるのではと考え始めたそうです。

2000年代になり介護保険制度も始まり、状況は格段に良くなってきています。しかし、遠距離介護は親子の関係性、経済状態、離れている距離など様々な要因によって個別に課題は異なっています。親の状況や意向を再確認すると共に、私達自身の「できること/できないこと」を整理することが大切なのだと教えていただきました。

聞き書きからスタート「あなたの遠距離介護ノート」を、当日参加者全員に配って下さりました。○遠距離に暮らす親の立場・子の

立場：親の多くは住み慣れた場所に住み続けたい、見慣れた風景の中で暮らしたいと思っておられる。子の立場は親だけにしておいていいのかわからないという思いである。しかし、実際行ったり来たり生活で精神的にも体力的にも疲れが重く押し掛かってくる。「自分しかない」「自分さえ頑張れば」という介護抱え込みのメカニズムで押し潰されないうように、出来ることをやるというスタンスにしよう。

情報の得方：各地域の「地域包括支援センター」は、困った時の最初の相談窓口です。地域のボランティアやNPOの情報提供は「社会福祉協議会」で。認知症などの相談は「保健所」へ。

親や兄弟姉妹との関係を良好にするために：親の情報を共有すべき。親を知って客観視。介護は冷静沈着に。○遠距離介護には「たいへん」がある一方「メリット」も：離れているから優しくできる！気持ちを切り替えることができる。○大切な戦略：家族、地域、ケアマネジャーなど親の周り

にいる色々な人々とチームを組む。親の思い、価値観や何を大切にすることを、笑顔のある生活のためのビジョンを練る。介護保険以外のサービスもなるべく受けるべく情報を収集する。介護費用は本人の手当で、介護資金をプランする。私達は仕事生活、親の事、自分の人生、自分の老後資金などの優先順位を付け、時間を調整する。

私達は故郷信州諏訪にて離れて暮らす親の思いを大切にしながら

必要となったら親の周りにいる多くの人々と共に遠距離介護を気持ちよくできるようにすることが大事なことだと思いたくありません。

介護をする上で必要な情報、家族間でコミュニケーションを取りながらトラブルを防ぎたいこと、気持ち切り替えながら楽しむことも長く続けていく秘訣だと教えていただき、大変有意義な時間となりました。

「私達自身も百歳まで平気で生きてしまおうと考えると、老後資金の計画を今からしっかりと立てていきましょう。」(笑)

講演後、「こんな真剣に聴いて下さる会は初めてです。」とお褒めいただきました。二葉の幹事会では素晴らしいと思います。これからも会の絆を深めていきましょう。(高橋みどり)

〈講師プロフィール〉

介護・暮らしジャーナリスト、NPO法人パオコ理事長、ファイナンシャルプランナー。1960年東京都生まれ。20年に渡る取材活動より得た豊富な事例を基に、「遠距離介護」「ワーカーバランス」「介護とお金」等の新たな視点で新聞、雑誌、テレビなどで情報発信。行政、組合、企業での講演実績も多数。著書に、「70才過ぎた親を支える72の方法」、「老親介護とお金」、「故郷の親が老いたとき」、「遠距離介護」などがある。

南信同窓連の

会長当番校として

理事 宮川秀世

南信地区加盟校は18校あり、会長は2年任期の輪番制になっている。平成26年・27年度が本校の担当となる。これを受けて、歴代正副支部長会と役員会から推薦されて、当番校としてその任に当たっている。また県の東京同窓連(各地区会長は自動的に副会長となる)への関与もある。南信地区行事に総会・親睦旅行・忘年会、県の方は総会・(50周年記念式典……本年のみ)・新年会とあって、会員参加による相互の親睦・交流を図り啓発し合う機会となっている。本支部においては当番校として、多くの参加者を募る仕事がある。この責務を果たそうとする際、二葉東京支部の組織力に支えられている。各回の支部長・役員経験者の方々へ協力をお願いが出来て、7回生から23回生に至り満遍なく同窓連へ寄与している。

私たち東京支部の現在直面する難題はあるものの該当学年として継承し、培われた組織と伝統が守られているからこそである。大切にしたい。その根幹は「同期会」活性化にあると思う。

平成26年度諏訪二葉高等学校同窓会東京支部決算報告

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

1. 本会計

〈収入の部〉

(単位：円)

項目	予算	収入	備考
1 前年度繰越金	2,814,412	2,814,412	
2 維持費	1,000,000	908,000	
3 寄付金等	0	0	
4 雑収入	1,000	505	預金利子
収入合計	3,815,412	3,722,917	

〈支出の部〉

(単位：円)

項目	予算	支出	備考
1 総会講師謝礼・お車代	140,000	140,000	総会講師謝礼
2 会場費・諸経費	300,000	99,214	総会資料印刷代、会場費等
3 支部便り作成費	140,000	131,543	支部便り印刷作成に伴う費用
4 弔慰金	10,000	4,542	弔文レタックス
5 役員通信費・交通費	160,000	145,348	役員通信費、役員交通費
6 役員会費	150,000	196,903	役員会9回
7 幹事会費	270,000	169,501	幹事会1回
8 送料・通信費	400,000	438,181	往復はがき代(総会案内、幹事会案内)、宅配便等
9 印刷・コピー費	100,000	22,035	役員会資料等
10 事務用品費	10,000	2,645	パソコン用CDRW、のし袋、のり等
11 渉外二葉関係連合同窓会	30,000	15,980	本部総会交通費
12 雑費・予備費	100,000	83,208	東京同窓連、南信同窓連
13 振込用紙印字代、銀行振込手数料等	10,000	3,142	
支出小計	1,820,000	1,452,242	
14 次年度繰越金	1,995,412	2,270,675	
支出合計	3,815,412	3,722,917	

平成27年度 諏訪二葉高校同窓会東京支部予算

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1. 本会計

〈収入の部〉

(単位：円)

項目	予算	備考
1 前年度(26年度)繰越金	2,270,675	
2 維持費	900,000	
3 寄付金等	0	
4 雑収入	1,000	貯金利息
収入合計	3,171,675	

〈支出の部〉

(単位：円)

項目	予算	備考
1 総会講師謝礼・お車代	120,000	
2 会場費・諸経費	650,000	総会案内、総会資料、会場費
3 「支部だより」作成費	140,000	「支部だより」印刷費等
4 弔慰金	10,000	弔文レタックス
5 役員(通信費・交通費)事務局(人件費)	210,000	役員通信費 53,000円、事務局人件費・年間 50,000円
6 役員会議費	140,000	会場費、弁当代
7 幹事会費	220,000	幹事会1回分(会場費、講師謝礼、弁当代他)
8 送料・通信費	150,000	「支部だより」送料他
9 印刷・コピー費	100,000	封筒・資料印刷、用紙、インク代、コピー代
10 事務用品費	10,000	
11 渉外二葉関係連合同窓会	30,000	本部総会交通費
12 雑費・予備費	100,000	東京同窓連、南信同窓連関連費用
13 振込用紙印字代	10,000	維持費振込用紙印字代他
支出小計	1,890,000	
14 次年度繰越金	1,281,675	
支出合計	3,171,675	

2. 東京支部同窓会基金

(単位：円)

項目	予算額	備考
1 前年度繰越金	3,052,000	
合計	3,052,000	

2. 東京支部同窓会基金

(単位：円)

項目	予算額	実行額	備考
1 前年度繰越金	3,052,000	3,052,000	
2 26年度積立金	0	0	25年度以降積立中止
合計	3,052,000	3,052,000	次年度繰越金

上記の通りご報告致します。 上記は会計監査の結果間違いありません。

平成27年3月31日 会計係 伊藤みずゝ ㊟ 平成27年4月10日
 瀧田由織 ㊟ 会計監査 竹内誠子 ㊟
 村松多寿子 ㊟

平成27年 諏訪二葉高校同窓会東京支部総会会計報告

平成27年5月12日 開催

〈収入の部〉

(単位：円)

項目	金額	備考
1 会費	936,000	6000×156名(出席155名、欠席1名)
2 御祝儀	43,000	本部より2万円・東京同窓連1万円・6回生13,000円
3 講師謝礼・お車代	120,000	本会計より
4 諸経費	629,488	本会計より
合計	1,728,488	

〈支出の部〉

(単位：円)

項目	金額	備考
1 講師謝礼・お車代	120,000	柳澤寿男様
2 会食費用	1,283,704	ホテルメトロポリタン エドモンド 会場費 332,640(宴会場使用料) 控室使用料 23,760 飲食代 882,484 (お弁当155、ビール55、烏龍茶98、ジュース30、 ケーキ154、紅茶153、コーヒー7) 設備費 44,820 (マイク一式、つば花、演題めぐり)
3 総会資料印刷代	28,900	総会案内葉書代、印刷代 261,085円 総会冊子170冊 印刷代、用紙代 24,467円
4 雑費	37,884	ポスター代 3,000 食事代 1,660 メッセージカード返信切手 2,012 手土産用菓子 1,620 傘寿贈呈用花束(6回生18名)29,160 振込手数料 432
合計	1,728,488	

上記の通りご報告いたします。 平成27年5月30日

会計 伊藤みずゝ ㊟ 瀧田由織 ㊟

平成27年度 諏訪二葉高校同窓会東京支部事業計画

1 主な会議・会合

5月12日(火)平成27年度 定期総会
 6月、7月、9月、10月、11月 28年/1月、2月、3月、
 4月、5月 役員会
 10月 東京支部だより「二葉」第20号発行
 11/13(金) 幹事会(拡大)
 28年5月17日(火)
 平成28年度 定期総会
 会場「ホテルメトロポリタンエドモンド」(JR飯田橋駅 東口)

2 主な事業 課題への対応

- ①若い世代(男性会員を含む)の会員の拡大
 会員名簿の照合と新規加入会員の開拓
 総会会費の減額、同期会開催支援
- ②魅力ある同窓会行事の開催 講演会、特別企画等の充実
- ③時代に対応した会の運営方法への改善
 会員の活動の紹介と応援(広報紙、総会冊子への広告掲載等)
 役員会、幹事会、総会等の土日開催検討
 二葉本部との連携
 メーリングリスト作成、メールでの情報発信

広報誌等への広告掲載希望 募集(名刺大 3,000円)
 会員本人に限る 平成27年10月発行 部数 約2000部

- ④同窓会東京支部役員の在り方についての再検討
 事務局の固定化、役員任期の延長、総会担当を同期会での実施等検討
- ⑤東京支部活動場所の確保

平成二十七年年度 役員紹介

役員紹介

- ①出身地 ②出身中学校
- ③高校時代の部活等
- ④趣味・関心事
- ⑤東京支部同窓会への抱負

支部長

石上(田中) 美保(高23回)



①辰野町②辰野中
③合唱部④声楽・温泉旅行⑤すばらしい伝統を継承しつつ更に若い世代に繋げていけるような魅力ある同窓会に。

副支部長

浜(矢島) みゆき(高23回)



①辰野町②辰野中
③器楽クラブ④読書・バイオリン⑤楽しく、皆さんが参加してみたいなと思えるような同窓会にしたいです。

副支部長

濱田(向山) 真由美(高24回)



①高遠町(伊那市)②高遠中③生徒会・文芸部④フワーアレンジメント・映画鑑賞⑤楽しみながら友達達の輪を拡大したい。

副支部長

石塚(武井) 美恵(高24回)



①岡谷市②岡谷東部中③卓球部④登山・卓球⑤信州諏訪の話になると皆あつというまにお友達です。同窓会参加お待ちしております。

会計

中村(大久保) ちづる(高28回)



①諏訪市②上諏訪中③放送委員会④フラダンス・ヨガ⑤役員の仕事を大切にして、友人・先輩・後輩の絆を大切にしたいと思っております。

会計

原(原) 素子(高28回)



①富士見町②富士見高原中③合唱部④猫⑤楽しいことばかりだった高校時代(恩返しと思いき受けました。

記録

藤森(塩原) ゆり子(高33回)



①岡谷市②岡谷西部中③化学部④旅行・スポーツ(観戦)⑤素敵な先輩方との出会いに感謝です。ご指導いただきましたながら一生懸命させていただきます。

記録

次田(小平) しげみ(高33回)



①茅野市②茅野北部中③器楽クラブ④体力づくり・茶道・スポーツ観戦⑤先輩方との出会いに感謝し、伝統ある同窓会のために、微力ながら努めさせていただきます。

記録

小野(伊東) 節美(高33回)



①茅野市②永明中③手芸部④ヨガ・旅行⑤歴史ある同窓会をさらに発展し続けていくように、先輩方と共に力を合わせお手伝いさせていただきます。

会計監査

小檜山(藤森) 恭子(高26回)



①諏訪市②諏訪中③テニス・茶道④ヨガ・イタリヤ⑤東京に住んでいて、本部だけに年会費を納入している人を東京支部に呼び込んで！

会計監査

熊崎(宮坂) 文江(高26回)



①諏訪市②諏訪中③軟式テニス・写真④シユガークラフト・観劇⑤皆さ

んが気軽に集まれる同窓会にしたいです。

事務局

瀧田(齋藤) 由織(高27回)



①諏訪市②上諏訪中③放送委員会④講談・朗読等の話芸・長唄⑤若い世代に関心を持ってもらえるような同窓会に。

東京・南信同窓連理事(南信会長) 宮川(落合) 秀世(高8回)



①諏訪市③二葉会役員・社会部④江戸時代の古文書を読み解く楽しさ!? 世の中の動き⑥同窓連の任期を全うできて恙無くハトントツチすること。

東京・南信 同窓連理事 中坪(小沢) 清子(高18回)

①岡谷市上浜②岡谷南部中③社会部④旅行・登山・手芸・街道歩き⑤若い世代に魅力ある同窓会を作り、次に繋げるよう努力したい。

平成27年 諏訪二葉高校同窓会東京支部 代表幹事名簿

2015.8.1現在

卒業(高校回数)	氏名	旧姓	電話番号	卒業(高校回数)	氏名	旧姓	電話番号
7	小平 ミキ子	伊藤	042-301-2583	25	五味 のりほ	牛山	042-335-5533
8	東(ヒガシ)征	岩波	049-294-3237	26	鈴木 千草	林	047-332-1665
9	堀川 節子	中沢	047-463-3547	27	塚本 悦子	岩波	045-433-5680
10	三浦 一重	安達	042-536-9505	28	大宮 澄江	根橋	080-5505-8020
11	守屋 静子	寺平	03-3328-7752	29	内田 真理子	増澤	090-2766-1200
12	加室 弘子	牛山	044-987-8070	30	谷口 文	宮坂	044-945-4450
13	伊藤 久子	熊井	0467-73-2208	31	松木 きよみ	山田	042-675-4661
14	永田 福子	牛山	042-373-3476	32	高際 みどり	轟	090-2732-3883
15	小林 厚子	古原	03-3338-0107	33	藤森 ゆり子	塩原	03-6762-4882
16	西村 真由美	矢島	0297-72-8921	34	池上 敦子	浜	03-3958-8843
17	松岡 節子	牛山	04-7153-4816	35	新堀 千春	小松	045-475-1911
18	星野 俊江	斎川	046-264-9401	36	川口 洋子	藤森	042-958-2318
19	加藤 道子	小川	042-231-6223	37	杉原 佳容	河上	045-361-6741
21	矢崎 許美	矢崎	03-5707-5578	38	大高 さち子	宮坂	090-5415-1686
22	山下 操	林	080-5488-7075	39	大庭 節子	細田	042-728-4066
23	宇田川美和子	五味	047-378-8550	40	藤井 みさき	太田	03-3857-5318
24	神長 こざく	小池	048-794-4723	41	津田 恵美	小林	043-484-1229

(電話番号掲載については、ご本人にご協力いただきました)

平成28年 東京支部定期総会のお知らせ

日 時：平成28年5月17日（火） 11：00～15：00
 会 場：ホテルメトロポリタンエドモント（飯田橋） ☎ 03 - 3475 - 2525

1 総 会

2 講 演 講師：中村 梧郎 氏 フォトジャーナリスト 岡谷市出身／諏訪清陵高校卒業
 敬愛大学・環境情報研究所客員研究員
 日本ジャーナリスト会議JCI代表委員／日本写真家協会会員
 主な著書 VIETNAM WAR グラフィックレポート 岩波書房
 母は枯葉剤を浴びた 岩波現代文庫
 受 賞 第1回日本科学技術ジャーナリスト会議特別賞（2003年）



演 題 「フレームを通して語りかけるもの」

3 茶話会

会 費：6000円（昼食パーティー） ※総会参加申込は平成27年3月末、往復ハガキでご案内します

高校二十三回生 同期会報告

（高二十三回生 宇田川美和子）



平成二十六年十月十二日（日）秋晴れの昼下がりに、なつかしい友が集いました。皆がワクワクと心躍らせ、集合時間よりずいぶん早めの会場入りでした。数年前から同期会会場は、交通の便や人数変更に対応しやすいたの理由から品川プリンスホテルのランチバイキングに固定し、年一回の開催を続けています。残念ながら最小三名から最大十五名位の出席者数で推移しており、今回は九名が参加しました。

出てきます。

二十三年生は齢六十三になりますが、現役で仕事中心の生活を続けている方、親族の介護や子世帯から頼まれる孫の世話に慌ただしい日々を過ごしている方、何より自分自身の健康状態や体力低下に苦慮している方など、それぞれの話は止まりません。これからの生き方、世の中の諸問題に至るまで信州人の話は尽きません。

今年は二十三回生の石上さんが支部長、浜さんが副支部長として活躍中です。同期の輪を大きく広げて、二人を出来る限り支えていこうと確認し合いました。

最後は「頑張って二葉生の団結力を！」と全員が握手で締め、あつという間のランチ同期会が終了。あの瑞々しかった十代の頃の心を少しだけ思い出し、心が和み、帰宅の足取りも軽やかになりました。二葉の同期会、パワーだと感じました。

先日久しぶりに諏訪二葉高校の校舎を目にし、四十年以上も前の懐かしい日々の記憶が突然に溢れ出てきました。こんな心の思いを皆様方とずっと共有できる幸せ、絆を大切にしたいと強く思っております。

謹んでご冥福をお祈りいたします

平成26年5月18日から平成27年4月30日までにご連絡をいただいた方々です。

本間 貞 (上条)	高女29回	関 たかみ (牛山)	高校4回
林 純子 (田中)	高女30回	辻本 和 (岩波)	高校4回
横内 和子 (鶴飼)	高女30回	茅野 純子 (小口)	高校6回
菅波 瑞子 (田中)	高女31回	矢崎加代子 (五味)	高校7回
三井みわ子 (中山)	高女31回	今井 朱美 (長岡)	高校7回
立石富美子 (新村)	高女31回	清水 光子 (松本)	高校8回
上島たか恵 (上原)	高女32回	見形 弘子 (百瀬)	高校8回
岩田たま子 (松村)	高女34回	丸茂 町子 (丸茂)	高校8回
広川 聡 (武井)	高女38回	小林さか多 (藤森)	高校12回
中島 君 (宮坂)	高女38回	高木 操 (滝澤)	高校12回
荻原 和子 (町田)	高校1回	利光 幸子 (加藤)	高校17回
小松 益子 (藤森)	高校1回	小島知恵子 (矢崎)	高校19回
笠松 光江 (内池)	高校1回	中登 恵子 (辰野)	高校20回
高橋 宏子 (原)	高校2回	小林 道子 (諏訪)	高校27回
有賀 和子 (原)	高校2回	櫻井佳代子 (河西)	高校29回

編集後記

☆27年度より、総会決議で「事務局」が出来ました。26年に会計を担当して下さった瀧田様が事務局を引き受けて下さいましたので、今後は支部会員名簿の管理及び維持費の徴収・管理がスムーズに行えるようになりました。

☆今まで同窓会の活動に全くと言って良い程参加して来なかった事もあり、お役目を引き受けたものの、何をどうしたら良いのか途方にくれましたが、石上支部長、浜副支部長初め、諸先輩方のご指導や励ましのお蔭で発刊する事が出来ました。ご多忙中、原稿を寄稿下さった皆様に感謝致します。若い世代にとっても魅力的な、今の時代に即応した形での同窓会運営を模索しておりますので、ご意見をお寄せいただくと幸いです。

《役員連絡先》

TEL・FAX

支部長：石上 美保 047-395-6944
 副支部長：浜 みゆき 042-574-0661
 副支部長：濱田真由美 044-932-3761
 副支部長：石塚 美恵 047-174-1619
 事務局：瀧田 由織 044-965-1345